

# みちこだより

(日本共産党・笠岡市議会議員 ひのつ倫子)

2002年1月 No. 7  
〒714-0055 笠岡市生江浜965  
Tel&Fax 0865-66-1738  
携帯電話 090-2862-4775

## 今年もよろしくおねがいします

旧年中は何かとご支援いただききまして、誠にありがとうございました。厚くお礼を申し上げます。「みちこだより」第7号ができましたので、お届けします。皆さんのご意見ご感想、お寄せいただきますようお願い致します。

今年もどうぞ暖かいご支援をよろしくお祈りいたします。2002年が皆様にとりまして、すばらしい一年となりますようお祈り致します。

## 12月議会でも質問に立ちました

### ① 島の中学校統廃合問題について、

「島の人達の意見を聞いて、進めたい」という6月議会での市長答弁を踏まえ、その後の経過をたずねました。

私は6月以後、3度島を訪れ、特に飛島では「子供を通わせるという船に試乗したが、親子とも不安でしょうがない」、真鍋では「学校を建てるというから漁業権を放棄して埋め立てに賛成した。まだ建てないのは約束違反だ」という声を多く聞きました。飛島中を神島外中へ統合するのを見直し、真鍋島の人達との約束

を守り、島の振興と教育の振興を併せて考えるべきだと質問致しました。

これに対し、教育長は「保護者との懇談をもった。飛島では通学船に関し、さらに検討が必要」、市長は「巡回市長室を開いた。真鍋では学校用地、約束だから守らねばということにはならない。児童数の変化によって情勢は変わる。みんなの声を聞きながら、協議していきたい。」と答弁されました。

私は、島の振興と島の教育の振興が、車の両輪となるよう、また「米百俵」の精神が、島の教育でこそ生かされるよう、頑張ります。

### 人権条例について

市長提案の人権条例に対し、私は反対の立場で、質疑を行い(12/11)反対討論に立ちました(12/19)。

昨年12月20日付け中国新聞などマスコミ報道されましたが、笠岡市は県下10市ある中で、ただひとつ人権条例を制定しました。人権と名をうっていますので(ア)

### ② 市民への「痛み」押し付け、市長も反対の声を、—社会保障、医療保険制度改革で—

社会保障制度改革問題、特に医療保険制度に絞って市長の考えをたずねました。「国民の自己負担2割から3割への引き上げ、保険料の引き上げ、高齢者医療を70歳を75歳からとするなど、ほぼすべての階層年代にわたって、負担を強いるというのがこの度の国の改悪方針です。

今でさえ、高い国保税を払いたくても払えない人が大勢いる中、高い国保税の引き上げも心配される。市長も反対の声をあげるべき」と質問致しました。

市長は「制度改革は必要。国保は国民に負担を押し付ける社会保障、医療保険制度改革に反対していきます。制度なので、国の責任と負担で財源措置をすべき。全国市長会を通じて国に意見をあげているので、それで十分である。市の国保税の引き上げにならぬよう努力する。」と答弁されました。私は国民市民に負担を押し付ける社会保障、医療保険制度改革に反対していきます。

### ③ 病院給食も医療業務のひとつ

市民病院は、市民の命と健康を守る責務をもった公共施設。赤字だからといって安易に民間委託すべきではない。と質問致しました。

市長は「市民病院の社会的使命は分かっている。健全化計画に基づいて、経費節減、効率性向上の為に民間委託したい。」と答弁されました。

私は市長も認める市民病院の社会的使命が、名実共に果たされるよう、又市民病院が、経営努力すると共に、市民からますます信頼される病院となるよう、奮闘していきます。

### ④ 狂牛病対策について

「8月から牛が売れない」「肉の売上が40%に落ちた」など、酪農家の方々や販売業者の皆さんの経営、生活への不安が高まっています。市独自の救済、又国への要望をおこなったり、安全性を確認しながら、食肉祭りを開くなどPRできないかたずねました。

市長は「融資など国の制度に添って、対応して行きたい。祭りは市がおこなうイベントの中にコーナーを設けるなどでは考えられる。」と答弁されました。

私は業者の皆さんが安心して経営や生活ができるよう頑張っていきます。

(ア)何か進歩的に聞こえますが、中身は同和条例そのものです。

今年の3月末で、国の同和対策事業が終了します。同時に市独自の対策事業の一つである、介護保険税を含む国保税、固定資産税、都市計画税など、半額にしていた同和減税も、当然なくなります。しかしこの条例を根拠に、さらに続けることになりました。(ア)

(イ)「解放新聞」によりますと、昨年7月31日笠岡市は、部落解放同盟笠岡市協議会に、「人権条例の12月制定、法期限切れ後の同和行政の推進を約束」し、それを交渉の「成果」として報じています。近隣の市町村では既に3月末の法の期限切れを待たずに独自の事業を廃止するなどを決めております。こうしたことを考えても、この度の条例、まさしく人

次のページへ



権にこそ借りた同和条例と言えます。  
私は民主主義を守り、笠岡市民全員の人権が等しく保障されるよう、奮闘していきます。(「ページのつづき」)

民生水道委員会でのできごと

12月12日、国に対して、「医療改悪」反対の意見書を提出するよう求めた請願を審査しました。私は、岡山県医師会や全国市町村会も同じ趣旨の請願を出していますが、市民の健康と暮らしを守るために当然採択すべきと発言しましたが、賛成少数で不採択となりました。

同様に、「公的年金制度改革と最低保障年金制度の創設」を求める請願は私のみの賛成で、不採択となりました。

「就学前までの乳幼児医療費無料化制度の国の制度化」「食品衛生法」に関する請願は、全員一致で採択されました。

総務文教委員会でのできごと

12月13日 地方交付税削減反対、税財源拡充に関する請願の採択を求めて出席しましたが、同僚の原田設議員のみの賛成で、不採択となりました。

すぐ対応していただき、ありがとうございました



県道の街燈取り替え

- 金浦県道、生江浜市道路路面補修
- 生江浜ガードレール設置
- 生江浜国道わき、水路整備
- 旭丘、バス停長椅子設置
- 吉浜西水門、水漏れ防止
- 大河、U字溝、側溝ふた、正土の支給
- 生活相談(保育料、国保税など)

あしあと



9月-12月 指定ゴミ袋有料化に伴う説明会が各地でありました。9月の生江浜地区から12月の古比須地区まで、18カ所参加させて戴き、経過と問題点をお知らせし、ご協力をお願いして参りました。

10/10-12 民生水道委員会、北海道に視察に行つて参りました。最終日、空き時間を利用して卒業生を訪ねました。

10-13.14 倉敷アイビースクエアで私学父母懇全国大会が開かれ、私はOBとして参加しました。

少年法改悪の問題点と、青少年の荒廃から、大人社会が何を学び取るかを共に考える機会を持ちました。



(スタートしたランナーをレポートする人たち)



11/18 ① ベイファームマラソン 女子5Km に参加しました。運動不足を再認識しましたが、気持ち良くマイペースで走れました。

② 大道芸祭り 出展されたバザー各店を激励とご挨拶をして回りました。皆さんと共に楽しみました。

③ 大学の同窓会、短い時間でしたが出席させて戴きました。なつかしい方にお会いできて、とても楽しい一時を過ごしました。

④ 地区運動会 年齢別リレーに参加しました。マラソンの後の短距離はつらかったですが、こげずに走れてほっとしています。我を忘れた楽しい一日でした。

10/11.29.11/19 社会保障協議会の皆さんと、市の担当課との話し合いを持ちました。「国保税滞納世帯に保険証を発行せず、病院では10割の支払いをという通知を、資格証と共に発送した人数、率が県下最高」という実態をもとに、払いたくても払えない人達、又その中でも乳幼児のいる世帯への暖かい対応を求めました。乳幼児のいる世帯については直ちに善処すると約束されました。

11/9. 共産党岡田県議と共に対県交渉を行いました。金浦湾へのJR敷設石流出が、おしぐらんごの和船航行の妨げになること、吉浜東水門第2次しゅんせつ、西浜の海岸整備、県道路面整備、吉田川水門周辺整備等、申し入れました。善処を約束されました。

11/23 島への宣伝、訪問 4つの島を巡り中学校統廃合反対を訴え、島の人達の声聞いてきました。

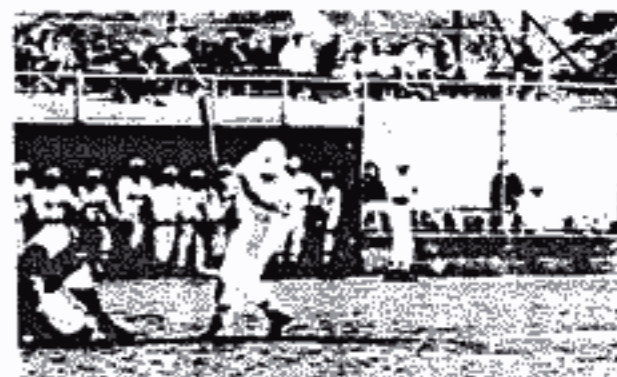
12/27 保育園で餅つきがあり、OBですが、お手伝いしました。



(早稲刈り「おんぼろ」と園児たち)

12/27 5月から始めた1年目のご挨拶、金小学区の地域と、大井ハイランド、この日締めくくることができました。ご多忙のところ、大変ご迷惑をおかけ致しました。

11/17 野球1年生大会 選手全員力を振り絞って頑張っていました。敗れましたが、最後まであきらめない姿にいつも感動します。



「イチーッ! ビコハ投げ! とんぼー!!」

夫からの一言

妻が山陽高校を退職して、皆さんに議会に送っていただき、早2年が立ちます。何かとご支援賜り、大変ありがとうございます。今年も朝夕、夫婦での街頭宣伝で、お騒がせしますが、よろしくご協力のほどお願い致します。

山陽高校教諭 ひのつ(旧姓林) 周明

2002年

1/5 浦安の体育館での空手全国大会「桃太郎杯」、女子ベスト4、男子ベスト8。優勝は逃しましたが、みんな力いっぱい健闘でした。

私も声をからして応援しました。なつかしい卒業生に会え、頑張っている話を聞き、励まされます。



上段つき一本